



被爆体験講話

講師に〇〇〇〇さんをお招きして、リモート配信で被爆体験講話を行いました。〇〇さん御自身は戦後のお生まれですが、中学1年生の時に爆心地から約2kmの地点で被爆された父 〇〇〇〇さんの体験をお話いただきました。〇〇さんの穏やかな語りにはひきこまれ、真剣にお話を伺いました。



書写の時間

国語科では、年間計画の中に書写の時間が計画されています。この日は、2年生のクラスで書写の授業が行われていました。手本を見ながら、とめ、はね、はらい等、筆遣いに注意しながら、真剣に書いています。

無言で静まり返っている教室の中は、ピーンと空気が張り詰めていて、そばで見ていると、みんな自分自身の心と向き合っているようにも感じました。



職場体験学習

2年生は、直接働く人と接したり、実際に仕事を体験したりすることを通して、学ぶことや働くことの意義を理解し、望ましい勤労観や職業観を育成することを目的として、8月27・28日の2日間、職場体験学習を行います。

先日、体験させていただく職場へあいさつに伺うため、職員室からアポイントメントの電話をかけました。みんな緊張した様子でした。

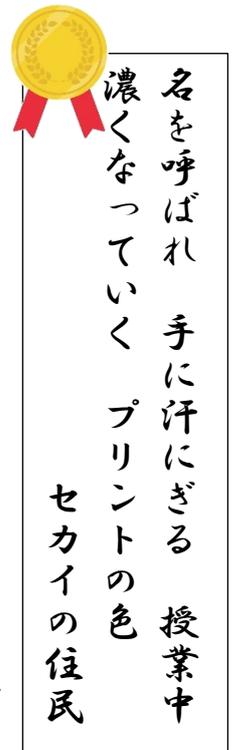


短歌の学習

国語科の〇〇先生から「2年生で短歌を作ったので校長賞を選んでもらえませんか。」と依頼を受けました。

早速、2年生の教室へ向かうと力作ぞろいではありませんか。どれにしようか悩んで、掲示してある短歌の前を往復すること数回…。そしてこちらの句に決定しました。

名前順なのか座席順なのか…。もうすぐ自分の順番がまわってきて発表しなければならないという緊張感、そしてその緊張感がどんどん増している様子が「濃くなっていく プリントの色」にととてもよく表現されていて、自分の学生時代を思い出しました。作者は、2年3組の〇〇〇〇さんです。



名を呼ばれ
手に汗にぎる
授業中
濃くなっていく
プリントの色
セカイの住民